地域での取り組み

■　避難行動要支援者避難支援の取り組みを進めよう！

誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを！

これまでの災害事例から、高齢者や障がい者等の避難行動要支援者への情報伝達

や避難誘導等の支援が必ずしも十分であったとは言えず、その対策が重要な課題と

なっています。

誰もが安心して暮らすことができる地域づくりをめざして、災害時において自力

で迅速な避難行動をとることが困難な方に対して、隣近所や地域で助け合って、速

やかに避難することができるよう事前に避難支援の仕組みづくりを協力して進めま

しょう。

避難行動要支援者とは

要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦、児童、傷病者、外国人など、特に配慮を要する者）のうち、自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者を避難行動要支援者といい、次のような状態の人々が該当します。

＊移動が困難な人

＊日常生活上介助が必要な人

＊情報を入手したり、発信したりすることが困難な人

＊急激な状況の変化に対応が困難な人

＊薬や医療装置が常に必要な人

＊精神的に著しく不安定な状態を来たす人

＊言語、文化、生活習慣への配慮が必要な人

〈避難行動要支援者名簿に基づいた活動の展開について〉

取り組みの進め方のイメージ

避難行動要支援者の名簿の管理について確認

避難行動要支援者避難支援の推進体制づくり

個別の状況の把握

＊個別支援プラン表の作成

支援体制づくり

●避難行動要支援者名簿の管理について

|  |  |
| --- | --- |
| 管理責任者 |  |
| 管理方法 | 鍵のかかる保管庫で管理 |
| 登録者数 |  |
| 更新方法 | 区へ申請してその都度更新  　・区では月単位で更新、申請により提供  　・支援が必要な方は、福祉コーディネーター  が巡回により、ある程度把握  　・70歳以上の方の名簿は連合振興町会会長  及び福祉コーディネーターが所持（敬老会  の参加者） |

●避難行動要支援者避難支援の推進体制づくりについて

　　　　　例）

地域の体制

　　　　　　　　　等々

地域防災リーダー

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　見守り・支援

町会(班)

民生委員

地域福祉コーディネーター

老人会

　　　　　　　　　　　　　　　　　連携

日ごろからの

「つながり」づくりが大切

社会福祉協議会

●避難行動要支援者の個別支援プランづくり

　　　　　日ごろのつながりづくりを通して、地域全体で避難行動要支援者の個別支援プランづくりを進めます。また、日ごろの見守りにもつなげます。



1人1人の状況に応じたプランを作っておくことが大切

できる限り複数の避難支援者で協力しながら支援できるようにしましょう。

聞き取りなどを通じてコミュニケーションを図り、日ごろの

見守りにもつなげましょう。

［個別支援プラン記入例］

●避難行動要支援者の災害時の支援について

　　　　　　災害時に、避難行動要支援者への情報伝達、安否確認、避難支援に取り組む体制を検討します。

［支援体制］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 避難行動要支援者 | 支援者 | 備考 |
| ○○町会の方 | 町会長、女性部長、班長、  民生委員　など  ・・・・・　　　　　名 | ＊個別支援プランの情報共有 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　　　　　　　避難ルートとともにマップに整理

例）